

令和 4 年度
第 2 回宮城県農村振興施策検討委員会

農泊事業
現地調査・意見交換

蔵王農泊振興協議会
(蔵王町)

令和 4 年 10 月 25 日

蔵王農泊振興協議会

— 持続可能な地域づくり戦略SDZ(ao)s —



空き家を改修した宿泊施設



ワーケーション風景



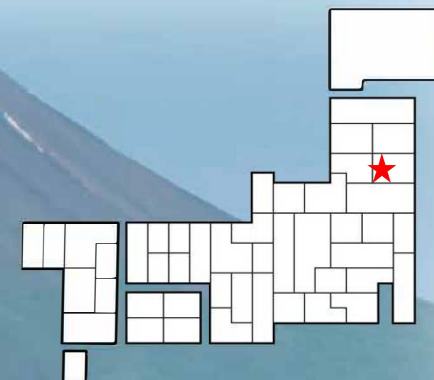
体験コンテンツ（陶芸体験）

ビジネス部門

農泊

荒廃農地対策

移住・定住

ざおうまち
所在地：宮城県 蔵王町

概要

- 「空き家」、「荒廃農地」等の「負債」を有効に利用することで、「宿泊施設」、「観光農園」等の「資源」に転化。
- 陶芸体験等の新たな体験コンテンツの導入、地域の食材を使った新メニュー開発ワークショップの実施など、観光資源を充実。

成果

- 農泊関連売上は、500万円（平成30年度）から1億5,000万円（令和2年度）に増加。
- コロナ以降はワーケーション、マイクロツーリズム等の新たなターゲットに切り替え、コロナ前よりも観光客が増加。